



「はしる」「つくる」「つなぐ」

副校長 小林 謙二

8月下旬のような暑さと、涼しさを呼ぶ小雨が迎えた2日間、令和3年度の運動会が無事に終わりました。このような状況下において「無事に」という言葉は適していないような気もしますが、グラウンド上での子供たちは、それぞれの場面で、今もっている力を存分に発揮しているように見えました。保護者・地域の皆様には今回、参観をご遠慮いただき、大変残念な思いを強いてしまいましたことに対し、改めてお詫び申し上げます。画面越しに届けられた熱気は、実際のそれと比較できるものではありません。しかし、会場の雰囲気と子供たちのがんばりの様子が、少しでも応援してくださっていた方々に伝わっていれば幸いです。

さて、運動会は単なる一つのイベントではありません。学年に応じた学びの蓄積を発揮する場であり、個が新たな挑戦をする場であり、集団の凝集性を高める場でもあります。赤と白に分かれて競い合う楽しさも、勝敗を受け入れる喜びや悔しさも、学年の枠を越え、がんばりを讃え合う充実感も、味わった気持ち全てをこの2日間で完結させるのではなく、新たな力に変えていかななくてはなりません。そこで改めて、「運動会」そのものがもつ価値、「運動会」をきっかけに私達が育てたかった力について改めて考えてみたいと思います。

「はしる」…低学年の頃は走ることそのものの心地よさを味わいながら、中学年・高学年に進むにつれて、合理的で心地よい動きを身に付け、仲間との競走や記録の達成を楽しみます。得意であっても不得意であっても、目標を定め、自己の能力を知り、解決に向けて努力する。時にスピードを落とすことはあっても、目の前の困難に負けず、一歩前へ進む推進力をもてるよう、今日も元気に**「はしる」**

「つくる」…民舞もダンスも、イメージやリズムの世界に没入してなりきること、そして何よりも体を動かすことを通して表したい感じを仲間と共有することが求められます。時代や歴史の背景を知り、非日常的な動きを体感し、集団で一つの作品を創り上げる。それはたった1日で仕上がるものではありません。かけた時間とその密度に応じて、成し遂げられた先に充実感を味わえるよう、今日も仲間と**「つくる」**

「つなぐ」…応援団は5・6年生が、鼓笛隊は6年生が、なでしこ小の伝統を背負い、一人一人が役割を担う責任感をもって、練習を積み重ねてきました。代表として選ばれた選手は、勝敗のかかる場面で力を発揮できるようバトンパスの技能を磨いてきました。卒業した先輩方がそうであったように、積み上げてきた過去の上にしっかりと現在を築き上げていけるよう、今日から明日へ、なでしこ小のみんなで**「つなぐ」**

さあ、折り返しの10月、更なる成長を期待しています。

1日	金	都民の日	18日	月	全校朝会 クラブ活動 秋の読書週間始
2日	土		19日	火	
3日	日		20日	水	【全B時程5時間】 5組宿泊学習(那須)始
4日	月	全校朝会 写生会(3・4年生) 委員会活動	21日	木	5組宿泊学習(那須)終
5日	火	音楽朝会 写生会(5・6年生)	22日	金	第2回校内研究授業(4年2組以外は4時間授業) あいさつプロジェクト①
6日	水	スクールコンサート 1学期巡回指導終	23日	土	
7日	木	【全4時間】(6年3組のみ5時間授業) 写生会(1・2年生)	24日	日	
8日	金	【全5時間】1学期終業式	25日	月	全校朝会 委員会活動
9日	土	秋季休業日始	26日	火	
10日	日		27日	水	あいさつプロジェクト② 避難訓練
11日	月	秋季休業日終	28日	木	あいさつプロジェクト③ 就学時健康診断 全学年3時間(給食あり)
12日	火	2学期始業式	29日	金	あいさつプロジェクト④ 秋の読書週間終 1・2年生遠足(川口市立グリーンセンター)
13日	水	2学期巡回指導始	30日	土	
14日	木	プログラミングキャラバン(5年生)	31日	日	
15日	金	【全B時程】	10月の行事予定		
16日	土	土曜授業(表現公開3・5・6年生) サフラニンテスト(4年生)			
17日	日				

校庭開放日

3日(日)・9日(土)・10日(日)・11日(月)
 17日(日)・24日(日)・31日(日)

カウンセラー来校日 篠村さん：7日、14日(午前)、21日、28日
 中田さん：5日、12日、19日、26日

あいさつプロジェクトが始まります！

特別活動主任 鈴木 知斉

「おはようございます！」「こんにちは！」「さようなら！」「ありがとうございます！」「ごめんなさい！」と、気持ちのよいあいさつをしていきたいという代表委員の児童の思いから始まったあいさつプロジェクト！今年度も、地域や保護者の方々、赤羽岩淵中学校の生徒会のみなさんと一緒に取り組んでいきます。

地域の方や先生、友達、他の学年の子と挨拶を交わし合うよさを体感し、日常的にあいさつをする習慣のきっかけになってほしいという思いが込められています。また、代表委員の児童が自主的・計画的にこの活動を行うことにより、人のためや学校のために活動することの心地よさを味わってほしいです。

「あいさつを大切にしてほしい。」という代表委員の思いから事前に全校朝会でお知らせしたり、動画を撮影したりという活動に取り組んでいきます。夏休みに募集をした、あいさつポスターも正門前や校内に掲示する予定です。楽しみにしてください。

あいさつを通して、多くの人たちと心を通わせ、気持ちのよい学校生活となるようにしていきます。引き続きよろしくお願いいたします。

☆ 運動会 がんばりました ☆

第2学年担任 川越 洋平

2年生は、50m走と、表現種目「素敵なステッキ、なかまとともに☆」、代表者は低学年リレーに出場しました。

運動会の練習と当日を通して、元気に体を動かす楽しさを味わわせるとともに、精一杯、努力を積み重ねることの大切さ、集団で協力し、物事を成し遂げた際の達成感なども味わわせたいとねらいを定め、子供たちと練習に取り組みました。

練習を始めるにあたり、自分たちが、何を、どのようにがんばりたいか。子供たちとその思いを出し合いました。練習を始めた当初は、「全部覚えていないからまだ緊張してしまう。」「楽しんで踊りたい。」という意見も聞かれました。また、「家族に成長を見せて喜ばせたい」という声も聞かれ、感心させられました。

何度も練習を重ねるうちに、休み時間や、家で練習を重ねている子も見られるようになりました。もっとうまく表現したい。もっと速く走りたいと、主体的に練習に取り組む姿に担任一同も嬉しくなりました。

無事、運動会が終わった今、一人一人の成長を、担任から子供たちにしっかりと伝え、今後の学習や行事にも生かしていけるよう、引き続き支えていきます。

毎日の給食を通じて

栄養士 市川 三紗

なでしこ小では、子どもたちの健やかな成長のために、おいしく安全な給食作りを心がけています。汁物のだしは鰹節や昆布から、シチューも鶏ガラからスープをとって作っています。カレーも、小麦粉・バター・油・カレー粉を使い、時間をかけて作ります。学童期は味覚形成の大事な時期なので、食材の味とうまみを活かした調理を心がけています。うまみをしっかりきかせることで、減塩にもつながります。

健康のために何を食べればいいのか、日々悩む人も多いでしょう。そのときは、「マゴタチワヤサシイコニ」でチェックしてみましょう。これは、毎日の食事としてほしい食品群の頭文字を覚えやすく並べた言葉です。それぞれ「㊟ (豆、豆製品)」「㊤ (ゴマ等の種実類)」「㊦ (卵類)」「㊧ (チーズ等の乳製品)」「㊨ (ワカメ等の海藻類)」「㊩ (野菜果物)」「㊪ (サカナ等の魚介類)」「㊫ (シイタケ等のキノコ類)」「㊬ (いも類)」「㊭ (コメ等の穀類)」「㊮ (肉類)」を表しています。一日三食ですべての食品群をとれると理想的です。給食では、これらの食品がバランス良くとれるように、献立を作成しています。㊟㊩㊪㊫は、苦手な児童が多く、不足しがちなため、ご家庭でも積極的に取り入れ、食べ慣れて欲しい食材です。毎日の給食から、「何を」「どれだけ」食べれば良いのかを、見て、食べて、学び、ご家庭での食生活に活かして欲しいと考えています。